



季刊 VOL. 80  
発行日 令和8年5月9日  
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園  
問い合わせ 044-588-4030  
飼育展示数 哺乳類:20種119点  
鳥類:22種63点  
爬虫類:9種92点  
(令和8年4月末日現在)

## 最近の動物公園

春にしては暑い日もあり、動物公園にはたくさんの花が咲き、たくさんの虫も出てきました。季節の変わり目は寒暖差も大きいので、動物たちの温度管理に気を配る時期でもあります。そして、これからマーコール・ホンシュウジカの出産シーズンを迎え、忙しくなってきます。



## レッサーパンダの健康診断を行いました

毎年この時期にレッサーパンダたちの健康診断を行っています。今年も3頭、無事に終わりました。今年でアンとファファは16歳、ケイコは11歳、皆高齢になり、少しずつ加齢による変化が出てきています。数年前からファファ・アンともに臼歯(奥歯)の磨り減りが目立ってきました。ファファは白内障、アンはそれが少し進行し眼球全体に影響が出てきています。他にも換毛がきれいに短期間で終わらなかったり脊椎の変形が見られたり。加齢は病気ではありませんが、症状を楽にしたり、不具合をケアしたりすることはできます。もちろん全てを解消することはできませんが、彼らがこれからも長く穏やかに過ごせるよう、飼育に努めていきます。

\*アンについて：視力が落ちた関係で、屋外展示場に出られない日が増えるかもしれませんが、屋内で寝ている姿の方が多くなるかもしれませんが、見守っていただけますと幸いです。



\*公式 Twitter(X)はこちらから→



\*公式 Facebookはこちらから→



## ★ピックアップ動物★



## テンジクネズミ

哺乳綱 齧歯目 テンジクネズミ科

野生では南米の草原に生息しているネズミの仲間  
で、そのうち家畜化された一種がモルモットです。

一度に 3~5 頭の子を産みます。産まれた子どもは  
毛も歯も生え揃った状態で、翌日にはおとなと同じ草  
を食べ始めます。成長も早く、オス・メスとも生後2  
ヶ月齢くらいまでに性成熟（子どもを作れる状態まで  
体が成長すること）します。

昨年秋から冬にバックヤードで産まれた子どもたち  
を、暖かくなってから続々と展示場に合流させていま  
す。子どもは素早く走り回ったりジャンプしたり、と  
ても身軽です。乾草入れに登ってみたり、職員が清掃  
時に持って入るチリトリに入ってみたり、ホウキをか  
じってみたり、好奇心は尽きないようです。一方で、  
野生では巣穴で暮らす性質があるためか、狭くて暗い  
場所や身を隠せる箱などが大好きで、おとなも子ども  
も仲良く箱の下で身を寄せ合っている姿がしばしば見  
られます。

## 獣医の日記

4月中旬、ヤギのせいろが数日間展示に出ていなかった期間があることに気付いた方もいるかもしれません。結論から言うと、実はせいろが出産したものの、こどもは死産という残念な結果でした。

出産前日から様子がいつもと違ったため、その日は朝から覚悟して臨み、予想通り出産が始まり…というところまでは良かったのですが、いきみが弱く、赤ちゃんがなかなか出てきません。蹄の向きから逆子なのかわかり、産道のどこかで赤ちゃんが引っかかっている可能性が高かったため、陣痛を促進させる薬を打ち、出産の手助けをすることにしました。なんとか赤ちゃんの向きを変えながらせいろに合わせて引っ張り出し、必死に呼吸の手助けを行いました。残念ながら赤ちゃんはおなかの中で亡くなっていたようでした。その後、ほどなくして2頭目の出産が始まり、こちらは手助けせずともスムーズに産んだのですが、こちらも残念な結果でした。不幸中の幸いで、せいろの体は順調に回復し、また群れに合流することができています。

出産にはおめでたいイメージがつきものですが、赤ちゃんも母親も命がけです。実際、母子のどちらか、あるいは両方が命を落とすこともあります。また、赤ちゃんは突然生まれてくるものではありません。母親が身体に大きな負担と命の危機を抱えながら妊娠と出産を乗り越え、ようやくのご対面となります。産まれても安心はできません。様々な理由で、赤ちゃんは成長した個体よりもずっと命を落としやすい生き物です。そして程度の差はあれ、ヒトも動物も同じです。

これから始まる出産シーズン、職員たちがピリピリしているように見えるかもしれませんが、そういうわけです。

## ★動物たちの主な移動(令和8年2月1日~令和8年4月30日)★

テンジクネズミ(♀3繁殖、♀1死亡)、ホンシュウジカ(♂1 ♀2 搬出→浜松市動物園)、マーコール(♂1 搬出→伊豆シャボテン公園)、パラワンコクジャク(♀1死亡、♀1 搬出→浜松市動物園)、ニホンイシガメ(♂2死亡)、コモンマーモセット(♂1死亡)